

2011年4月1日

ソリッドワークス・ジャパン、 テクニカルコミュニケーションツールの新バージョン 「3DVIA Composer V6R2011x」を販売開始

テクニカルコミュニケーションにおける比類ないソリューション

2011年4月1日

ソリッドワークス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区)は、3次元CADデータを活用したテクニカルコミュニケーションツール「3DVIA Composer V6R2011x」を、2011年4月1日より、弊社販売代理店網を通じて日本国内でも販売開始することをここに発表します。

本製品は、親会社であるダッソー・システムズが全世界のダッソー・システムズ販売代理店網を通じて販売しています。

本製品をダッソーグループ全体で販売することにより、3次元設計データの活用範囲をさらに拡大し、製品をより早く市場に投入できるものづくりプロセスの効率化の相乗効果をグループ全体で推進していきます。

「3DVIA Composer」の新機能およびパッケージング

3DVIA Composer V6R2011xには、以下の主な新機能が含まれています。

1. ライフライク・エクスペリエンス

- アルファチャネルのサポート: 背景透過なラスター画像が生成できるようになり、より高品質で使いやすい画像の生成ができます。
- アンビエントオクルージョンとピクセル単位のライティング: より精密な光と影の表現を1クリックで表示できるようになり、簡単に高品質な3次元コンテンツを作成することができます。
- フィールド深さ(ぼかし): 指定した焦点から離れた箇所をぼかし、単なる3次元ツールでは不可能な3D描画を再現できます。

2. コミュニケーションと操作性の強化

- ベクター出力でのシルエット作成: モデルのシルエット線でアウトラインを生成するなど、テクニカルイラストで扱いやすいベクター画像を作成することができます。
- カスタムホットスポットとカスタムコンパス: 3次元CADのファイル階層構造にとらわれず、テクニカルコミュニケーションコンテンツ独自に部品をグループ化できます。カスタムコンパスと組み合わせることで、現在見ているモデルの方向や位置などを的確に把握できる、非常にわかりやすいコンテンツを作成することができます。
- 関連付けが切れたアクターの選択: 例えば設計変更が頻繁に発生した場合に、関連付けが切れた注記などのアクターを一括選択し、削除することができます。これにより、コンテンツのメンテナンス時間をさらに圧縮することができます。

3. 追加機能

- ベクターEPS 出力のサポート: イラスト編集ツールで読込むための EPS データ出力をサポートし、ベクター画像の用途をさらに広げます。

製品の販売とシステム要件について

3DVia Composer の新バージョンは日本全国の SolidWorks 正規販売代理店から購入することができます。

3DVia Composer は、さまざまな異なるソースやシステムからのデータと連携することができます。SolidWorks、CATIA V4 / V5、Pro/ENGINEER®、STEP、IGES 等の 3 次元 CAD システムやファイル・フォーマットをサポートしています。簡素な XML のやりとりを通じて、あらゆる PLM システムとも連携可能です。

3DVia Composer は標準 Microsoft® Windows® デスクトップ上で稼働します。

3DVia Composer の詳細に関しては、こちらのサイトをご覧下さい。

<http://www.solidworks.co.jp/sw/products/product-documentation-software.htm>

また、3DVia Composer の詳細な説明をご希望の場合は、SolidWorks 正規販売代理店にお問い合わせください。お近くの販売代理店については www.solidworks.co.jp/sw/contact-sales-representative.htm をご覧ください。

###

■3DVia について

3DVia は、ダッソー・システムズの 3D ライフ・エクスペリエンスを実現するブランドです。3DVia は、3D を共通言語として用いる新しいコミュニティを確立するために、3D をこれまでにないユーザーや、ビジネス、一般消費者に広げるものです。オープンな Web サービスベースのアーキテクチャーによって、3D コンテンツの高パフォーマンスなディストリビューションが可能です。3DVia はまた、3D プロダクト・パブリッシングに革命をもたらすオーサリング製品、インターラクティブにリアルタイムでアプリケーションを開発できる VirtuTools プラットフォームを提供しています。3DVia の情報については、<http://www.3dvia.com> (英語)をご覧下さい。

■Dassault Systèmes SolidWorks Corp.について

DS ソリッドワークスは Dassault Systèmes S.A.の子会社であり、3 次元ソリューションで世界をリードしています。同社は設計、解析、製品データ管理、文書化用ソフトウェアの開発および販売を行っています。同社は 3 次元 CAD ソフトウェアの主要なサプライヤであり、製品設計チームがより良い製品を開発するための直感的かつ高性能なソフトウェアを提供しています。最新のニュース、情報、オンラインデモンストレーションについては同社の Web サイト(<http://www.solidworks.com/>)をご覧になるか、お電話で 1-800-693-9000 (北米以外からの場合は+1-978-371-5000)までお問い合わせください。

■ソリッドワークス・ジャパンについて

(米) Dassault Systèmes SolidWorks 社の 3 次元 CAD ソフトウェア『SolidWorks』製品群及び 3DVia 製品 等の日本市場における販売・マーケティング、サポート及びパートナー開拓・技術支援を実施。国内主要な製造業を網羅しており、特に設備・装置・機械全般で 35%、精密・医療・電子機器・エレクトロニクス全般で 35%、それ以外に金型・加工、自動車関連、プロダクトデザイン等に採用されている。現在は単なるモデリングツールではなく、設計を支援するツールとして使い勝手のさらなる追及と設計検証、データ管理・運用等への展開のためのマルチプロダクト戦略で優位性を確保し市場を拡大。設立 1998 年 12 月 17 日、代表取締役社長 大古俊輔、従業員数 70 名。日本国内では、教育版を含み累計 115,500 ライセンス /16,000 社以上に出荷済(2010 年 12 月 31 日現在)。

SolidWorks は米国およびその他の国における Dassault Systèmes SolidWorks Corporation の登録商標です。その他のブランド名または製品名は各所有者の商標です。 © 2011 Dassault Systèmes SolidWorks Corp.

当リリースに関するお問い合わせ先:

ソリッドワークス・ジャパン株式会社(<http://www.solidworks.co.jp/>)

担当: マーケティング部 担当部長 金谷 道雄(かなやみちお)

E-Mail: Michio.Kanaya@3ds.com

〒108-0022 東京都港区海岸 3-18-1 ピアシティ芝浦ビル

TEL:03-5442-4005 FAX:03-5442-6256

参考資料：

1. (新製品) 3DVIA Composerについて

3DVIA Composer はものづくり企業が製品をより早く市場へ投入するために、設計・製造段階から完全に連動しながら 3 次元のドキュメントコンテンツをオーサリングするソフトウェアです。

- この製品のメリット

- お客様の製品をより早く市場へ投入することができます。
- ものづくりに関わる技術ドキュメントの制作コストを削減します。
- より高品質でわかりやすい技術文書が提供できます。



3DVIA Composer



2. 3DVIA Composer の主な活用先

3DVIA Composer は、ものづくり企業が必要とするすべての製品ドキュメントに活用することができます。



記事掲載例(補足資料) :

一般向け掲載例

【ソリッドワークス・ジャパン、デスクトップ向け製品ドキュメント作成ツール「3DVIA Composer V6R2011X」の国内販売を発表 - 2010年8月19日】

ソリッドワークス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区)は、デスクトップ向け製品ドキュメント作成ツールの新バージョン「3DVIA Composer V6R2011X」を、2010年9月17日より、日本国内において当社販売代理店網を通じて販売を開始します。本製品は、3次元CADと連動し、設計段階から効率的な製品ドキュメントコンテンツを作成するツールです。新バージョンではさらに使いやすく改良されており、従来まで、エンジニアリングの最終プロセスで作業されていたドキュメンテーション工程を大幅にフロントローディングさせることができ、これにより(1)製品のより早い市場への投入、(2)ドキュメント製作コストの削減(変更作業を含む)、(3)高品質でより環境を配慮したデジタルドキュメントの提供、等が可能になります。また、このツールは従来のドキュメント製作部門だけでなく、組立指示書などを取り扱うエンジニアリング部門や、製品カタログ、WEBコンテンツなどを取り扱う企画・マーケティング及び営業部門でも有効に活用することができます。(約430文字)

SolidWorks 製品戦略面からの掲載例

【ソリッドワークス・ジャパン、3次元デジタルものづくりの効率化を推進する新バージョン「3DVIA Composer V6R2011X」の国内販売を発表 - 2010年8月19日】

ソリッドワークス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区)は、デスクトップ向けコンテンツ・オーサリング・ツールの新バージョン「3DVIA Composer V6R2011X」を、2010年9月17日より、日本国内において当社販売代理店網を通じて販売を開始します。新バージョンではさらに使いやすく改良されており、3次元データとの連想を生かした製品ドキュメントのコンテンツ作成ツールを提供することで、従来ものづくりプロセスの最終工程に位置づけられていたドキュメント製作のクリティカルパスを軽減するとともに、組立指示書などを取り扱うエンジニアリング部門や、製品カタログ、WEBコンテンツなどを取り扱う企画・マーケティング及び営業部門でも利用できるような操作性、利便性を備えています。DSソリッドワークス社は、1995年から3次元設計ツール「SolidWorks」を販売。当初は、ソリッドモデリングツールとして、そして2003年からは設計検証・解析ツールを、2007年からは本格的なデータ管理ツールを提供してきました。また、これらの製品群は、3次元CADを単なるモデリングツールから、設計要件を考慮した設計検討ツール、そして生産要件をも考慮した設計検討ツールへと進化し、エンジニアリング全体を考慮した設計ツールを他社に先駆けて可能としてきました。そして、今回の第4の製品「3DVIA Composer」で、エンジニアリングの最終プロセスで作業されていたドキュメンテーション工程を大幅にフロントローディングさせることで、3次元データの効率的な活用を提案し、製品リリースまでのものづくりプロセス全体を飛躍的に向上させることを目指します。(約700文字)

以上